

学校名	質問項目	答弁の概要	答弁者
<p>暁高等学校</p>	<p>『三重県の防災訓練・避難訓練の強化に向けて』</p> <p>① 県内で実施している防災訓練の周知はどのように行っているのか。</p> <p>② 三重県内で県全体の共通の「未来をつくるデー」という防災訓練を行う日を作り、各市町村の自治体を主導として、防災訓練を行うことを提案する。</p> <p>③ 高齢者など一人での避難が困難な人へのサポートはどのようにしているのか。</p> <p>④ 防災訓練に加えて、避難所運営を想定した「HUG ゲーム」のような取り組みを行ってみてはどうか。</p>	<p>①② 毎年9月1日は「防災の日」として全国的に防災訓練が実施されており、三重県でも国や市町、防災関係機関等が一体となり、それぞれの役割分担、連携等の防災体制を検証し、強化するため、「総合図上訓練」を行っています。</p> <p>また、三重県ではより実践的な「総合防災訓練」も毎年行っており、今年度実施する市町の方々にパンフレットや広報誌でお知らせするとともに、県政だよりみえでも周知していきます。さらに、各市町や自治会等でも防災訓練が実施されており、広報や回覧板など、それぞれで工夫してお知らせしていただいているところですが、より多くの皆さんに知っていただけるよう、手法を検討していく必要があると思います。</p> <p>③④ 令和3年5月の災害対策基本法改正により、1人で避難することが困難である人が適切に避難できるよう、市町が「個別避難計画」を策定することが努力義務化されました。三重県ではまだ作成できていない市町もありますので、全国の優れた事例を紹介したり、どうすれば実際の災害時に役立つ個別避難計画が作成できるか、市町と一緒に検討をしてみたいです。</p> <p>当委員会で調査を実施した松阪市の宮前まちづくり協議会では、防災カードに「寝たきり・車椅子」など支援の必要性がわかるよう記載してもらい、それらの方へ支援員をあらかじめ定めたいうえで、声掛け避難をする取り組みを実施していました。ご紹介いただいた HUG ゲームなどの避難所運営ゲームも防災活動の中で実施しており、このような取り組みが各地域で行われることが大切だと考えます。</p>	<p>下野委員長</p>

学校名	質問項目	答弁の概要	答弁者
紀南高等学校	<p>『地域への防災・減災への取組について』</p> <p>① 地域への防災・減災に対する資金援助の制度はあるか。</p> <p>② 三重県が行っている地域への防災・減災の取組は。</p>	<p>① 資金援助の制度につきましては、三重県では地震や津波、風水害など防災対策を実施する市町に対して補助金を出しています。具体的には、要支援者の津波避難のための避難支援機材の購入や、災害監視カメラの設置費用、避難所の安全対策のための整備費用などへの補助です。災害から身を守るためには、行政の取り組みだけでなく、自助・共助の取り組みが何よりも大切ですので、市町がその仕組みづくりにつながる取り組みをすることを支援しております。</p> <p>② 三重県で実施している防災・減災の取り組みについては、紹介した My まっぷラン+のほか、地域での自主防災組織リーダーのための研修会の開催や、地域や企業の防災活動の支援、シンポジウム開催等による県民への防災啓発など、様々な取り組みを実施しております。議会においては、防災への取り組みに対して、調査・審査をしたり、必要であれば国への要望活動も行っております。</p>	下野委員長